

平成26年度忠霊塔・忠魂碑等の実態調査表

報告年月日

平成25年12月16日

① 名称	白田川忠魂墓地
② 建立場所	黒潮町有井川熊野神社畝二番の二
③ 敷地面積	約1,290㎡(390坪)
④ 建立年月日	明治37年12月15日
⑤ 敷地所有者	黒潮町
⑥ 建立主体	期成会
⑦ 建立の経緯等	<p>日露戦争までの戦没者は自家の墓地に葬った。日露戦争により英霊が続々と季刊するに至り、現在の位置を忠魂墓地として決定整備。その後、太平洋戦争による英霊の帰還に伴い墓地狭隘となり、昭和17年に白田川青年委員等の労力奉仕により一反二畝の土地を拡張して総面積一反三畝十八歩となった。</p> <p>昭和28年180余名の遺族会で未建立墓碑建立の儀を決定。白田川村内帰還軍人は直ちに期成会を結成し、村の協力で墓碑建立と墓地整理の業を完成した。</p>
⑧ 建設総費用(財源等)	<p>全体費用は不明。(推測)奉仕活動で墓地を建設したと判断される。歳月の流れにつれ、墓碑は風化腐食し汚れが目立ち、研磨に多額の経費が必要とするにいたり、昭和49年ごろより各個人負担で立替を始めた。価格は一基約十万円ですべて立替が終了した。</p>
⑨ 忠霊塔等の所有者	墓地敷地 黒潮町 墓碑石碑 各個人の私物
⑩ 現在の管理者	白田川地区遺族会

⑪維持管理の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・墓地全体の清掃活動は、年1回8月に白田川地区遺族会で実施。但し、高齢となり参加者が少なく大きな負担となっている。 ・町全体の(行政)の追悼式の前に町により墓地内・周辺の子掃を実施。 ・墓碑周りの清掃は個人で都度清掃。なお、石碑はあっても遺族は町外、県外在住で管理が出来ない方もおられる。
⑫慰霊祭の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・3月 春の彼岸祭 白田川遺族会主催 ・11月 戦没者追悼式 町主催
⑬霊名碑等の有無	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;"> 有 </div> <div style="text-align: center;"> <ul style="list-style-type: none"> ・忠魂の碑 ・感謝の碑:昭和29年11月に帰還軍人、村民各位の協力による墓碑建立に感謝して白田川遺族会が建立 </div> <div style="text-align: center;"> 無 </div> </div>
⑭戦没者の合祀者数	<p>180名 但し、現在は111柱 家庭の事情や遺族の高齢化により個人の墓地に引取り</p>
⑮備考 (参考となること があれば記入願 います)	<p>今回の実態調査で墓地の維持管理についての検討を行うことは大変よいことかと思ひます。私たちの忠魂墓地も敷地面積が広く雑草が生え、草刈清掃にも高齢のため参加者が少なく苦勞しているのが実態です。本年度から草から至当の薬劑を散布して少しでも清掃活動が楽になるように対応しています。薬劑散布も役員で対応していますが、その人も少なく苦しい状態となっています。</p>